

幸常関

議会報告

第5号
2007.1

発行責任者
南魚沼市議会議員 関 常 幸
南魚沼市浦佐2015番地
TEL025-777-2245

初夢!!



20××年、NHK大河ドラマに「直江兼続」放映決定。この朗報に市民約63,000人は祝杯を上げる。運動から数十年の悲願が達成する。低迷していた地域経済は活力を増し、観光客も300万人から予想をはるかに超え、1,000万人となる…。皆さんの初夢は…!



2007年元旦・初日の出、八色の森公園から八海山を望む!

「新年明けましておめでとうございます」この言葉は、私をすがすがしい気持ちにさせてくれます。また、新しい「スタート」が切れるという節目にしているからです。

市議会議員としてアツと言う間の1年間でした。1年生議員と言う言葉を、自分自身の禁句として活動いたしました。皆さんの期待に応えられたのか不安ですが、2年目の今年は「猪」にあやかり、猪突猛進・皆さんと共に走り・共に汗をかきます。いつでも、どこでも、誰でも、気軽に声をかけて下さい。

1月6日、六日町商工会主催の新春講演会「地方からの挑戦—喜多方ラーメンの仕掛け人が語るまちづくりの秘訣」と題した、山口和之さんの話に元気をもらった。

●人づくりを怠った地方、市町村はダメになる。●ビジョンを持ち、プロセスを考え、いま、何をなすべきかを考える。あとは行動あるのみ。●若者が育ち動くとき、地域は変わる。●不断の努力を惜しまず、行動していく以外に地域をよくする方策はない。●そして、母親の明るい姿がなければ、若者は地元に残らない。苦しくて挫折しそうな時が多いが、いつもどこかに楽しむ心を持ち続ける……と結んだ。

いま、塩沢・六日町・大和で「町おこし」が始動している。それぞれの初夢、目標・夢・ビジョン達成に向けて、2007年・今年も宜しくお願いいたします。

(注) 直江兼続：越後の国魚沼郡1560年坂戸城下に生まれ、幼名は与六と言った。下級武士の家に生まれ、その才知で上杉家の家老となり、全知全能を景勝のために尽くす。その生き様は、自らが兜の前立てにした「愛」の一字に全く恥じる事のない、誇りに満ちたものであった。

19年度より本庁舎方式(5部16課)に移行

12月定例議会は、12/13(22)までの10日間開催される。25件の議案、4件の陳情、3件の発議、2件の報告が上程され審議される。

「南魚沼市部制条例の制定」は第216号議案で最終日の案件で、前日の21日には一般質問終了後に、議会全員協議会を開催し、市組織機構改革について集中的に審議する。

執行部からは、本庁方式・部制の目標とすべき事項や、特に大和・塩沢の庁舎は「ワンストップ総合窓口機能」「地域コミュニティ支援機能」の市民センターとすると…。

本庁舎の増築改修等も関係することから、財政多難な折り、慎重論や市民へのサービスの低下への懸念から多くの意見が出る。

私をはじめ多くの同僚議員は、スリムで効率的な組織、市民との協働体制に対応可能な組織に一日でも早くなり、併せて財政が健全化になるためにも不可欠と支持をする。

一般質問

安心して安定して、米作り・コシヒカリを生産するために

市長は会議や会合の冒頭、南魚沼市の基幹産業は農業で、農業を基盤として観光事業、商工業、市民の生活が成り立っていると話します。その農業・コシヒカリが、農政や天気、流通や技術等の環境に一喜一憂し、農家の皆さんが不安に思い、安心して米作りに取り組めない現状です。

市の基盤である米づくりに安心して取り組む事ができ、益々発展するために3点提言します。

(1) 生産調整の次年度対策について

昭和44年から続いている生産調整も仕組みが大きく変わり、次年度から農協が生産調整の主体となり、農協組合長名で生産目標数量が配分されます。

そこで一番私が心配するのは、農協が主体となって推進することにより、達成に問題が生じないかと言うことと、農家や集落間に不協和音や不公平感が大きくなり、これから進めようとしている集落営農や農業振興にマイナスにならないかと言うことです。

米作りは一人ではできません。農家が協力し、集落を核として集落どうしが連携して、先人達は今日のコシヒカリを築いて来ました。生産調整が農家の皆さんに混乱無く受け入れられることが大切です。

そこで、来年の3～4月にかけて生産調整の取り



まとめが行われますが、推進が円滑に行くために、井口一郎市長名で個々への通知を出すことが必要と思います。市長の考えは。

併せて、事務局が農協に移管され関連する膨大な事務が農協へ移るわけですが、その支援体制について伺います。

(2) 「JAしおざわ」と「JA魚沼みなみ」の農協合併について

現在一般コシヒカリと魚沼コシヒカリは、価格が1俵当たり1万円の差で1俵30,234円と言う価格です。この価格を維持し、更なる不動のコシヒカリの産地構築のために農協合併は不可欠です。

前の話になりますが、湯沢・塩沢・六日町・大和の米の担当者が集まりました。湯沢の担当者が「塩沢産だ六日町産、大和町産だと言って、それぞれの農協が勝手に名前を付けて売り込みしても消費者はとまどうばかり、結果として魚沼コシヒカリにとってはマイナスになる。せめて郡内が南魚沼産で一本にならなければ…」と、まさにその通りなんです!!

農協の合併は、大和と六日町の合併に見られるように、コシヒカリの生産販売にのみならず、スイカ・椎茸・花卉等の農業振興に果たした役割は大きく、倉庫等の農業施設の有効利用が図られ、農業所得の増大に大きく貢献しております。

農協合併があしぶみしている現在、今こそ市長のリーダーシップが求められます。早期の合併が必要と思いますが、市長の考えを伺います。

(3) コシヒカリ等農産物の販売・PR・営業係の設置について

私がある職員に「これからは行政の職員も米や椎茸、スイカの販売にPRに東京に行く時代だな」と話したら「えっ！それはないでしょう。それは農協の仕事でしょう、市の職員の仕事ではないですよ」と話されました。

私は、産地が広域化し、農産物の輸入自由化が益々進み、激化する産地間競争に勝ち・生き残るためには、行政も農協と一体となりコシヒカリ等の農産物の販売・PRする営業担当・係が必要と考えます。

28日	26日	25日	24日	22日	14日	13日	21日	20日	18日	13日	12日	10日	7日	6日	3日	2日	1日	12月	29日	28日	27日	25日	23日	19日	18日	17日	15日	14日	13日	12日
つじクラブ忘年会	毘沙門堂活性化について	地域振興活性化部会	魚沼基幹病院特別委員会傍聴	新町町内「注連」作り	議会・執行部合同懇談会	浦佐菊まつり事務局会議	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会	裸押合記録保存幹事会

その事が農産物の販売促進のみならず、低迷している観光事業の活力と誘客に大きな力となると確信しているからです。部制新設の産業振興部に、担当者係を置くことを提言します。

〈市長答弁〉

①生産調整が混乱無く達成されるのであれば、JA組合長名と市長名を連名で通知する事が必要であれば拒むものではない。当然ですが一体となって推進していくという事は変わらない。人員についても専属の職員をJAに派遣する方向で考えている。また予算が少なく円滑に行かなかったということにはしない。

②おっしゃるとおりで、塩沢とのJA合併は必要不可欠です。合併につきましては、年明けに県中央会が事務局となり、検討委員会が開かれるということ聞いております。私としまして、一日でも早い合併に向けて、全力で両JAの皆さんと話し合いに入っていく。

③19年度、商工観光課と農林課が一体となった産業振興部をスタートさせますので、より一体となった取り組みはできるが、専任の職員配置については検討する。



家庭環境・社会環境の変化を受け、幼稚園と保育園の良いところを生かしながらその両方の役割を果たすことができる新しい仕組みを創ろうという事から「認定子ども園」が今年の10月からスタート致しました。

「認定子ども園」は①親や家庭の都合により幼稚園、保育園と分けるのではなく、一緒に学び、一緒に遊ぶことです。すなわち教育・保育を一体的に提供する施設のことです。②そして、すべての子育て家庭を対象に、子育て不安に対応した相談や、親子の集いの場を提供する施設です。すなわち地域における子育て支援を行う施設であります。

唯一当市で幼稚園を有する「浦佐幼稚園」は昭和47年建築で大変老朽化が進み、改修の話が出ております。浦佐保育園は昨年五箇保育園と統合し定員120人一杯に受け入れており、2階建て、遊び場も手狭で、増築・用地拡充等検討を要する時期に来ております。

改修が必要な幼稚園と2階建てで手狭の保育園を一体化して「認定子ども園」としての地域の要望に応える考えはないか市長に伺います。

〈市長答弁〉

確かに浦佐幼稚園、浦佐保育園とも非常に老朽化が進んでおり、狭い、使い勝手が悪い。改築をするさいには、両園を統合して「認定子ども園」に持ち込みたい気持ちは持っている。県の基準も相当厳しいので、今後「認定子ども園」として可能かどうか、19年度にその方向を検討する。両方の敷地とも狭いので場所の検討も。また、以前から話しているように、新設の際は公設民営と言う方向を考えている。

幼稚園・保育所一元化 「認定子ども園」について

朝7時40分頃、町内の子ども達が「オハヨウございます」と我が家の前を元気に登校していきます。子どもが元気で健やかにたくましく育ててもらいたい、育てたい、と全ての親はそう思い願っております。今年は特に子どもの相次ぐ自殺や、子どもによる殺傷事件が後を絶ちません。そして、無くならない「いじめ」。何がそうさせたのか。大変な世の中になってきました。ここ十数年で核家族化が進み家庭環境が変わり、子育ての環境も大きく変わってきております。

さて、「認定子ども園」についてですが、近年の

10日	青少年健全育成県民大会 KJ貸間食堂組合設立15周年記念会	9日	魚沼菊花展浦佐菊まつり表彰式	8日	政五郎蕎麦の会 大和猟友会懇談会	7日	井口市長市政セミナー	5日	裸押合い記録保存第3回学習会	4日	市民病院30周年記念講演 芳友会拡大役員会	3日	歴史展 裸押合い祭りの文化と	1日	社会厚生委員会	31日	南政・つづきクラブ研修会 査会	29日	魚沼菊花展浦佐菊まつり審査会	28日	国際情報高校創立15周年記念事業	26日	裸押合い記録保存研修会	25日	浦佐菊まつり小屋材搬入 市自衛隊協力会理事会	23日	中越大震災追悼式	22日	関常幸後援会世話人会	20日	第2回市環境審議会	18日	裸押合い記録保存幹事会	16日	社会厚生委員会管外視察	15日	普光寺永井住職葬儀	11日	天王町防犯協会 「青色灯設置」出発式	3日	裸押合い記録保存座談会	6日	親戚結婚式で四国へ	10日	天王町防犯協会
-----	----------------------------------	----	----------------	----	---------------------	----	------------	----	----------------	----	--------------------------	----	-------------------	----	---------	-----	--------------------	-----	----------------	-----	------------------	-----	-------------	-----	---------------------------	-----	----------	-----	------------	-----	-----------	-----	-------------	-----	-------------	-----	-----------	-----	-----------------------	----	-------------	----	-----------	-----	---------

活動日誌



猪突猛進の年

関常幸後援会会長
北村 洋成



12月3日、後援会「市政報告会・忘年会」の集い

新年明けましておめでとうございます。
何年かぶりの、小雪のさわやかな正月を迎えました。本年も、どうぞ宜しくお願いいたします。

暮れに行われました、関常幸後援会「市政報告会・忘年会の集い」に、大勢の方々（多方面）よりご参加いただき、賑やかに・楽しく、1年間の後援会活動を終了する事ができました。本当にありがとうございました。

当選直後の忘年会と違い、今回企画計画する際、関議員と100名集まればいかなと、話しておりましたところ、160名を越える参加申し込みに驚きました。

当日、皆様方のお話を聞いて回ると、関議員の活動振り（1年間）が、良かったぞ、一生懸命仕事（汗を流す）してるぞ、の声をあちこちで聞かせていただき、後援会としても非常に嬉しく思いました。反面、関議員の活動、地域への取組み等を皆さんが、よく見ているんだなと思い、本人はもちろん、後援会も気を引き締めながら、新しい年の幕開け、一日一日を大切に過ごしていきたいと思えます。

「人は見えています！」猪突猛進の年、関常幸議員には、まっすぐ前向きに、地域・市民・自分のために「いい汗」を流してもらいたいと思えます。

皆様方におかれましても、小雪とはいえ、冬本番です。寒くなりますが風邪等に気をつけて、幸せな1年間になりますようにご祈念いたします。

****裸押合い豆辞典****

●四足、二足を絶つ
毘沙門天に仕える青年団・年男は、3月3日祭り当日の一週間前（最高幹部は2月3日）から、水行をし、肉類・魚類、女人を絶ち、団員の士気を高め、裸押合いの安全と五穀豊穡を祈願し「行」に入る事を言う。

●オン・ベシラマンダワ・ソワカ
「どうか、毘沙門様、お願いします」と言う意味で、青年団が水行の時に3回唱える真言です。

議会傍聴記

浦佐 門山政一



気の合った仲間と、浦佐温泉・てじまやさんに湯治に言っていたら、「常蔵さん（関議員の屋号）の一般質問20日だって」「議会傍聴に行こう！」と声がかかりました。温泉に浸って安楽していましたので、すっかり忘れていました。議員のお父さんも湯治で一緒なので誘ったが、「俺は行かないよ…」と…。

一般質問2日目の一番手で登壇し、「認定子ども園」と「農業問題」で、市長に

堂々と提言している様は、一年生議員とは思われません。本当によく勉強しているなと感じました。次に質問した若井議員さん、「ごみ焼却炉の管理運営」について市長の考えを聞いた上で、先輩議員は、やはり一味も二味も違うなと感じました。午前最後の笠原議員さんの「市長の政治姿勢を問う」「魚沼基幹病院」については、聞き応えがあった。

今回議場に来て思ったことは、議員さん任せでなく、市民一人一人が意見を述べ、地域作りに参加することが大事なのではないでしょうか。

今後でもできるだけ傍聴に行きたいと思えます。

編集後記

今年の私の目標は①月間120km走る。②お母さんの畑の手伝い。③月に一冊本を読む。④神仏に一日一回拜む。（感謝）

そして、私の夢は、毘沙門通りが三六五日、「活力と元気を呼び興す」ことです。

12月9日に長女が嫁ぎました。正月に来た「婿」さんに、意地悪そうに酒を酌み交わしていたとお母さんの弁…。

皆さんの目線での活動が議員活動の基本です。私への提言や苦言、市への要望・苦情等遠慮なさらずお申し付け下さい。